

コミュニティ・スクール情報

2022. 8. 1

第2回 こうふく押切っ子協議会 会議録

月日：令和4年7月15日（金）
 時間：10：45～12：40
 場所：押切小学校 集会室

- 授業参観 10：45～11：00
 - 1年生 音楽の授業 2年生 体育の授業
 - 3年生 算数の授業 4年生 社会の授業
 - 5年生 社会の授業 6年生 社会ワークテスト



- 6年代表児童の考えを聞く

（運営委員長と副委員長の2名参加）

⇒三川町のスポーツが盛んになるために何が必要か。

- ・河川敷などにバスケットコートなどがあるとよい。
- ・eスポーツなど三川中の部活にあるとよい。
- ・eスポーツができる場所が町にあったらいい。

⇒中学校に入ったらどんな部に入りたいか。

- ・ソフトテニス部
- ・中学校にどんな部があるか知らない。

⇒どんな部活があったらいいか。

- ・体操やスポーツライミング
- ・部活がなくても習い事でできたらよい。

⇒教えてくれる人がほしいか。

- ・教えてくれる人がいた方はよい。

⇒スポーツ少年団には入っているか。

- ・剣道に入っている。以前は水泳をやっていた。
- ・自分から進んで体操クラブに入っている。



- 子どものスポーツ・文化活動の素地をどう育てるか。

- ・三川中には、文化系の部活が吹奏楽のみ。多様性に応えられていない。
- ・生徒数の減少から、部活動の数を減らすしかない。多様性に応えると、団体競技は人数が減り合同チームとなっている。地区総体で優勝した野球部さえ新人戦では鶴五中との合同チームとなる。
- ・子どもにきっかけをあたえるのは親。子どもの事を考え、親の思いも含めて考えていく。
- ・親としては、兄弟がいるとできるだけ同じことをやると送り迎えなどの負担が減少する。親の都合も少なからず影響する。
- ・現段階では、三川中の部活動にはすべての部に地域コーチがいる。
- ・地域指導者に大きな負担が今以上にかかることとなる。（保険などの事務作業も含め）現在の指導者もこの機会にやめようとする方が出てくる心配がある。また、その経費を受益者負担とすることは、保護者の

負担が大きくなるということでもある。

- ・地域指導者に合わせた活動となると、仕事をもった指導者の場合には夜間の活動が多くなる。
- ・ボランティア的指導者から公認指導者導入の時代が変わってきている。
- ・総合型スポーツ組織等の設立などが課題となるだろう。
- ・地域がどうのこうのいうことのできない問題となっている。行政が一定の対応策を提示した上で意見を出した方が具体的な話し合いになる。

○ 校長先生からの近況報告

- ・学力テストNRTの結果。学校全体として各教科全国平均を超えている。
- ・先生方で課題を共有し、より良い授業づくりを行っている。「学ぶ喜びを実感できる授業づくり」。
- ・子どもへのゆさぶりを大切に、主体的な学びを築いている。
- ・これまでのいじめの認知件数は30件。現在、見守りや保護者面談を通し対応。
- ・コロナ禍で運動や外での遊びが減り、ゲーム時間（スクリーンタイム）が増加。ゲームソフトの貸し借りなどの問題も起きている。平日のゲーム時間30分までをめざしている。
- ・150周年記念。8月24日に実行委員会開催。

(委員からの質問)

- ・音楽を教室でやって、大きな声を出していた。音楽室をなぜ使わないのか。
- ⇒電気のデマンドに関わる課題がある。クーラーを使うことで容量が目いっぱい。節電に力を入れている。

